

マーケットの動き (2021年9月7日～9月10日)

先週の米国国債市場は、前週末比で金利は小幅に上昇しました（債券価格は下落）。米国株式市場の下落を受けて金利低下に転じる場面もありましたが、各国中央銀行の高官らの発言が総じて金融政策の正常化路線を示すものであったことから、米国金利は上昇しました。

ドイツ国債市場もおおむね米国と連動した推移となりました。

投資環境見通し (2021年9月)

長期金利は、米国、欧州（ドイツ）とも緩やかに上昇

米国：雇用については失業保険の特例給付打ち切りに伴い労働市場への復帰等により雇用情勢はさらなる改善が見込まれています。FRB（米連邦準備制度理事会）のテーパリングについては債券相場に相当程度織り込まれたとみられます。長期金利は経済活動正常化が進むにつれて緩やかに上昇するとみています。

欧州（ドイツ）：ECB（欧州中央銀行）が緩和的な金融政策を継続する姿勢を示す中、当面のドイツ長期金利はドイツ総選挙の動向を注視しつつも経済活動の活発化を受けて緩やかに上昇すると予想しています。

	9月10日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	1.33	0.01	▲0.01	▲0.18	0.65
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	510.81	▲0.09%	▲0.55%	2.04%	2.84%

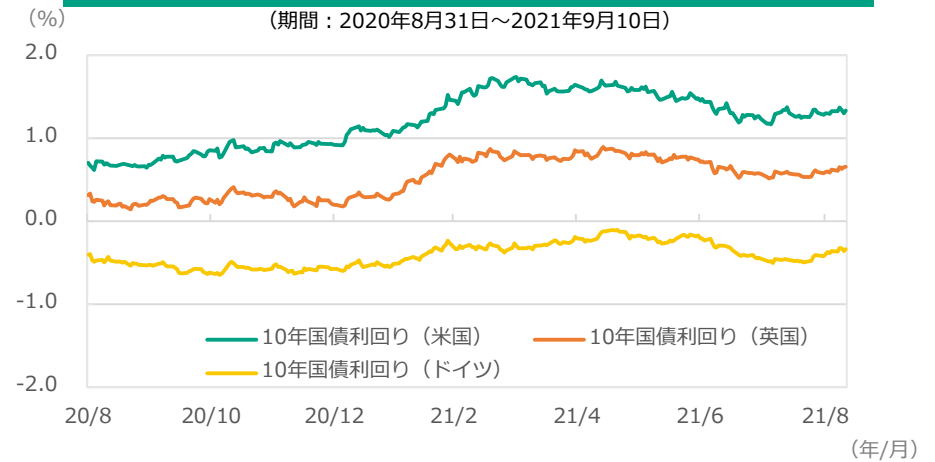
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202109_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移



FTSE世界国債インデックスの推移



※2020年8月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成